

## 2013年春季講演会「若手交流会」 開催報告



男女共同参画委員会

### 1. はじめに

平成25年5月18日(土)千葉大学松戸キャンパスにて開催された春季講演会において、若手交流会(13:00~14:00 第2会場にて)が開催されました。この若手交流会は、若手研究者・若手技術者の意見聴取や情報交換の場として、若手の育成など若手にとって魅力ある学会にするための具体的な提案や意見交換を目的としたものです。当日は若手のみならず、中堅以上の研究者・技術者の皆様にも多数ご参加いただきました。参加者は約40名と盛会で、会場はほぼ満席となりました。

本会は以下のプログラムに沿って、司会進行を男女共同参画委員の安元 純(琉球大学)・藪崎志穂(福島大学)が務めました。

1. 開会あいさつ(男女共同参画委員会 委員長 中屋眞司)
2. アンケートの趣旨説明, 若手のメーリングリスト(名簿)の作成について
3. 若手セミナーの実施について
4. 若手支援に対する要望等ー若手に魅力ある学会になるためにー
5. その他
6. 閉会挨拶(日本地下水学会副会長 今村聡氏)

以下に、会場から挙げた意見を紹介します。尚、当日配布しましたアンケートの集計結果と若手のメーリングリストについては、別稿にて報告します。

### 2. 「若手セミナー」について

男女共同参画委員会で提案された「若手セミナー」の開催について、目的や形式などに関して以下のご意見をいただきました。

- ・若手が学会発表しづらい内容(研究の悩みや失敗例など)を、気軽に情報共有できる場にするとうい。
- ・学術的要素以外でも交流できる場所(宿泊・運動施設などが併設されているなど)で開催してはどうか。ただし、学生と社会人とのスケジュール調整が必要。
- ・中堅以上の研究者・技術者(1名)と若手(数名)からなるグループを作り、気軽に相談や意見交換を行えるような場にしてはどうか。形式としては、講演発表会のランチタイムなどを利用。
- ・中堅以上の研究者・技術者にキャリアパスを紹介してもらい、若手が将来の進路等について質問や相談ができる場とし、講演発表会の期間中に設ける。
- ・学生(準会員)が企業に就職した後も、正会員として学会活動を継続しやすい環境を整えるという意味でも、「若手セミナー」のような機会は有意義である。

### **3. 若手支援に関する要望等—若手に魅力ある学会になるために—**

男女共同参画委員会で提案された若手会員支援策について、会場からの以下のご意見をいただきました。

#### **◆「準会員の会費を無料にする」案に関する意見**

- ・ 準会員の会費を無料にすることよりも、会費を支払う価値があると感じてもらえるよう学会の質をより高めていくことが重要。
- ・ 準会員の会費を無料にすると、正会員に移行する段階で学会を退会する人が増えるのではないかと。学生時代から会費を支払ってもらい、学会員としての自覚を持ってもらうことも大切。
- ・ 準会員の会費を無料にするのは反対。学会活動は多くの人が時間や労力を費やして成り立っている。そのことを認識し代価を支払う姿勢を持ってほしい。懇親会を無料にするのは賛成。
- ・ 準会員の会費を下げる代わりに、入会特典として書籍等を進呈してはどうか。
- ・ いったん会費を減額すると次に増額するのは難しくなるため、学会全体の予算配分や運営方針も含めて十分吟味する必要がある。
- ・ 遠方から講演会等に参加する諸経費に比べれば、年会費は高額とは感じない。
- ・ 自分の知識を深めたり、人脈を広げたりするために学会に参加している。充実した内容で参加する価値のあるものであれば会費を支払うことに抵抗はない（準会員からの意見）。

#### **◆その他の意見**

- ・ “準”会員という名称よりも“学生”会員などの方が良いのではないかと（“準”という文字により、“正式な学会員でない”というイメージになっていないか）。
- ・ 若手が参加しやすいような初心者向けの勉強会を開催してはどうか。
- ・ 企業勤務の若手の立場としては、若手対象のイベントは休暇を取りやすい時期に開催してもらえると参加しやすい。
- ・ 意見交換のツールの一つとして、インターネット上でのサイトを利用してはどうか。
- ・ 市民コミュニケーション委員会がホームページ上に開設している質問コーナーも、若手会員に有効活用してもらえると、広く周知していく必要がある。

### **4. 最後に**

本学会副会長の今村聡氏より閉会のご挨拶として、若手セミナーなどの企画を通じて人脈の育成・知恵の向上に努めていただきたい、とのお言葉をいただきました。男女共同参画委員会では、会場からのご意見やアンケート結果等を吟味して、会員のニーズに沿った有意義な企画を検討していきたいと考えています。最後に、今回の若手交流会にご参加いただいた皆様に厚くお礼申し上げます。